

令和5年度 学校教育自己診断 結果

2学期末に生徒・保護者・教職員を対象に「学校教育自己診断」を行いました。その集計結果等をお知らせします。

【生徒回答】

回答数 579

	診 断 内 容	R5肯定的回答	前年比	前年	R3
1	学校へ行くのが楽しい。	85%	↑	81%	82%
2	少人数の授業や、関心のある選択授業がある。	94%	—	92%	92%
3	授業内容に興味・関心をもつことができている。	91%	↑	88%	90%
4	学校生活についての先生の指導は適切である。	91%	↑	84%	87%
5	先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。	85%	—	85%	78%
6	先生は、いじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	91%	—	89%	89%
7	授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	98%	↑	91%	90%
8	授業の内容や目的によってICT機器を効果的に活用している。	98%	↑	93%	
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	94%	↑	84%	93%
10	将来の進路や生き方について考える機会がある。	96%	↑	91%	94%
11	進路実現に向けて、進学や就職など適切な指導が行われている。	96%	↑	92%	92%
12	この学校には、他の学校にない特色がある。	99%	—	99%	99%
13	体育祭、文化祭などの学校行事は楽しく充実している。	91%	↑	86%	83%
14	部活動や生徒会活動が盛んである。	96%	↑	91%	94%
15	高校展や芸文祭などの制作活動を通じて、達成感が得られる。	93%	—	91%	91%
16	担任の先生以外にも保健室やカウンセリング室等で、相談することができる先生がいる。	84%	↑	80%	73%
17	学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動すべきか指導されている。	88%	↑	78%	72%
18	学校の施設や設備については満足している。	90%	↑	86%	89%
19	地域(住之江区)や大学、芸術団体との連携の機会がある。	85%	↑	73%	66%
20	海外の美術作品を鑑賞したり、他の国との美術に関する交流をしたりする機会がある。	86%	↑	61%	44%

※前年比3%は、増減なしとみなし、—で表しております。

分析

今年度は、その場でWEB回答してもらったため、回答数は100%となり、正確な数値が得られた。

5月からコロナが5類に移行し、以前の高校生活を取り戻すことができ、ストレスなく学校生活を送れるようになったことで肯定的回答が大幅にアップした。特に上がった項目を挙げ、その要因を考えたい。「9 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」については、今年度の人権講演で呼び出した落語家福点の内容が大変良かったからだと考えられる。人権教育推進委員会が中心となって講演内容を考えるのだが、「命」をテーマとしている点が生徒に響き10%アップとなった。「17 学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動すべきか指導されている。」では、年2回の避難訓練は例年実施しているので変わらないが、要因があるとすれば連続で校内盗難が発生し、集会、校内放送で注意を受ける機会が頻発していた状況があったため、10%アップとなったようである。「19 地域(住之江区)や大学、芸術団体との連携の機会がある。」については、住之江区や関係団体との交流や連携活動が頻繁に行われ、多くの生徒がかかわった結果であると高く評価したい。最後に「20 海外の美術作品を鑑賞したり、他の国との美術に関する交流をしたりする機会がある。」は、25%のアップとなった。5月に台湾の姉妹校提携校が本校に訪問し、交流を行ったこと、海外研修が再開され1月に生徒26名がイタリアに行ったこと、さらに英語科が海外の学生とオンライン交流する機会をつくっていることなどたくさんのプラス要因が重なったことに起因していると思われる。

全体的にはコロナ禍で奪われていた教育活動や行事が戻ってくることによって、生徒の高校生活を有意義にし、意欲的にした結果としてこのような数字になったと分析される。

	診 断 内 容	R5肯定的回答	前年比	R4	R3
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	85%	↓	89%	85%
2	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	85%	—	86%	72%
3	この学校には、他の学校にない特色がある。	100%	—	99%	98%
4	学校での友達関係はうまくいっている。	91%	↓	95%	91%
5	学校は、教育情報について、情報提供の努力をしている。	92%	↑	88%	84%
6	学校の生徒指導の方針に共感できる。	87%	—	89%	89%
7	先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。	77%	↓	90%	87%
8	学校は、授業の内容や目的によってICT機器を効果的に活用している。	87%	↓	91%	
9	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	84%	↓	95%	92%
10	個人の悩みや、抱えるものについて、適切にアドバイスし、対応してくれる先生がいる。	86%	↓	90%	85%
11	学校は、子どもに生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を養おうとしている。	88%	—	96%	96%
12	将来の進路や生き方について考える機会がある。	98%	↑	90%	91%
13	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	89%	—	92%	94%
14	体育祭や文化祭などの学校行事は、活発に行われている。	95%	—	93%	82%
15	子どもは、高校展や芸文祭などの制作活動を通じて、達成感が得られる。	89%	—	89%	89%
16	地域(住之江区)や大学等との交流は盛んである。	81%	—	79%	73%
17	学校は、海外の美術作品を鑑賞したり、他の国との美術に関する交流をしたりする機会がある。	86%	↑	68%	34%
18	学校の施設や設備については満足している。	91%	—	93%	92%
19	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	78%	↓	88%	71%
20	子どもをこの学校に入学させて良かった。	96%	—	97%	95%

※前年比3%は、増減なしとみなし、—で表しております。

分析

昨年度の回答数は、75件。今年度はさらに下回り55件。保護者の1/10しか回答が得られなかった。次年度は、情報提供の方法を考えるとともに、何らかの対策を講じ、多くの回答が得られるよう工夫したい。

多くの項目で昨年度よりポイントが下回る結果となった。特に増減のあった項目を挙げ、その要因を考えたい。「7 先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。」は13%のダウン。「9 学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」は11%のダウン。二つの項目はいずれも学校の対応に対して不信感を持たれているご家庭が増えてきたことを意味する。連続校内盗難への対応や大雨警報発生時の対応等が原因として考えられる。真摯に受け止めたい。「19 この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」が10%ダウンしたことは、保護者への確実な情報提供の方法を工夫し、学校行事を知っていただく努力をしたいと考える。

逆に18%のアップとなったのは、「20 海外の美術作品を鑑賞したり、他の国との美術に関する交流をしたりする機会がある。」である。5月に台湾の姉妹校提携校が本校に訪問し、交流を行ったことや海外研修が再開されたこと、さらに英語科が海外の学生とオンライン交流する機会をつくっていることなどプラス要因が重なったことに起因していると思われる。

保護者への情報提供手段を考えるとともに、保護者ニーズに応えていく学校をめざし、さらに改善を進めていきたいと思う。

	診 断 内 容	R5肯定 的 回 答	前年比	R4	R3
1	学校の教育活動について、日常的に話し合っている。	75%	↓	94%	88%
2	生徒に対して、わかりやすく興味・関心を引く授業を行っている。	97%	—	100%	94%
3	補習や講習等を通じて、学力向上(実技力向上)に努めている。	90%	—	94%	77%
4	内容や目的に合わせて、ICT(情報機器等)を教育活動の中で活用している。	76%	↓	89%	77%
5	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	69%	↓	78%	88%
6	学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	90%	—	89%	88%
7	学校全体として、生徒・保護者の相談に適切に対応している。	90%	↓	100%	100%
8	生徒の個人情報を守る管理システムが確立できている。	69%	↓	94%	77%
9	体育祭、文化祭、修学旅行などの学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう工夫・改善を行っている。	93%	—	89%	94%
10	部活動を通じて、生徒が学校生活において充実感が得られる工夫がある。	90%	↑	78%	94%
11	国際感覚を養う国際交流について学ぶ機会を多く設定している。	79%	↑	33%	41%
12	教育活動の中で、平和、社会のルール、人権の尊重、生命の大切さなどについて学ぶ態度を育てている。	79%	↑	61%	76%
13	生徒一人ひとりの進路希望に応じて、きめ細かい指導を行っている。	93%	↑	83%	100%
14	教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員等とも相談することができる。	90%	↓	94%	94%
15	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており迅速に対応することができる。	86%	—	83%	77%
16	緊急の事故、事件、災害等に対して、迅速かつ適切な対応ができるよう、危機管理体制ができている。	68%	—	72%	88%
17	施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている。	55%	↓	83%	94%
18	この学校には、他の学校にない特色がある。	100%	—	100%	100%
19	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者への周知に努めている。	76%	↓	94%	100%
20	高大連携、地域との交流の機会が教育活動に生かされている。	90%	—	89%	82%

※前年比5%は、増減なしとみなし、—で表しております。

分析

回答率(29/45)は昨年度より高くなったものの、1回答で3.5%以上の差が生じる%表示では、経年変化を正確に分析することが困難であった。昨年度と比較し、下がったのが8項目、上がったのが4項目という結果になった。

否定的な回答が9名あれば、69%となることを鑑み、その項目を取り上げていきたい。

はじめに、「5 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。」「8 生徒の個人情報を守る管理システムが確立できている。」「16 緊急の事故、事件、災害等に対して、迅速かつ適切な対応ができるよう、危機管理体制ができている。」「17 施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている。」の4項目が70%を下回った項目である。5については、今年度総括を丁寧に行い、不断の工夫改善で臨むべきであると考え。各学年、教科、分掌で時間をかけ総括し、次年度の生徒のために何が必要で何が要らないかを判断し、工夫改善した計画で次年度を迎えて欲しい。8の個人情報に関する問題については、早急に話し合い、どこに問題があるのかを割り出し対応していきたい。1/3もの人間が危機感をもっているということを重く受け止めたい。さらに、16に関しては、危機管理体制の甘さを自覚し、体制の確認と整備を図りたい。17については、いちばん低く表れていた。40年が過ぎ、施設・設備の劣化が進行していることは確かであるが、生徒・教職員の安全を確保するため、学期に1回の安全点検項目の見直しや日常の点検管理をどのように進めていくか学校安全委員会を中心に対応を考えたい。